

聖霊降臨後第十六主日

特定二十一

憐れみ深い主よ、どうかみ民を救し、平安を与え、その罪をことごとく清め、穏やかな心をもって主に仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はアモス書第六章一節から」

1 災いだ、シオンに安住し

サマリアの山で安逸をむさぼる者らは。諸国民の頭である国に君臨し

イスラエルの家は彼らに従っている。カルネに赴いて、よく見よ。

そこから、ハマト・ラバに行きペリシテ人のガトに下れ。

お前たちはこれらの王国にまさっているか。彼らの領土は

お前たちの領土より大きいか。

3 お前たちは災いの日を遠ざけようとして不法による支配を引き寄せている。

4 お前たちは象牙の寝台に横たわり長いすに寝そべり

羊の群れから小羊を取り牛舎から子牛を取って宴を開き

5 堅琴の音に合わせて歌に興じダビデのように樂器を考え出す。

6 大杯でぶどう酒を飲み最高の香油を身に注ぐ。

しかし、ヨセフの破滅に心を痛めることがない。7 それゆえ、今や彼らは捕囚の列の先頭を行き寝そべって酒宴を楽しむことはなくなる。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第一四六編 五く十節

- 5 ヤコブの神を助けとし＝ 主に希望をかける人は幸せ
6 神は天と地を造り、海とその中のあらゆるものを形造
り＝ とこしえにまことを示された
7 虐げられた人のために審きを行い＝ 飢え渴く人に
パンを恵み、捕らわれ人を解放される
8 主は見えない人の目を開き＝ 卑しめられている人を
高め、正しい人を愛される
9 主は他国から来ている人を守り＝ 身寄りのない子供
とやもめを支え、悪人の企てを砕かれる
10 主はとこしえに治められる＝ シオンの神は代々に、
ハレルヤ

使徒書

朗読者 「使徒書はテモテへの手紙Ⅰ第六章十一節から」

- 11 しかし、神の人よ、あなたはこれらのことを避けなさい。
正義、信心、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。
12 信仰の戦いを立派に戦い抜き、永遠の命を手に入れな

さい。命を得るために、あなたは神から召され、多くの証人の前で立派に信仰を表明したのです。13 万物に命をお与えになる神の御前で、そして、ポンテイオ・ピラトの面前で立派な宣言によって証しをなさったキリスト・イエスの御前で、あなたに命じます。14 わたしたちの主イエス・キリストが再び来られるときまで、おちどなく、非難されないように、この掟を守りなさい。15 神は、定められた時にキリストを現してくださいます。神は、祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主、16 唯一の不死の存在、近寄り難い光の中に住まわれる方、だれ一人見たことがなく、見ることでできない方です。この神に誉れと永遠の支配がありますように、アーメン。

17 この世で富んでいる人々に命じなさい。高慢にならず、不確かな富に望みを置くのではなく、わたしたちにすべてのものを豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くように。18 善を行い、良い行いに富み、物惜しみをせず、喜んで分け与えるように。19 真の命を得るために、未来に備えて自分のために堅固な基礎を築くようにと。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

二二で聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ルカによる福音書第十六章十九節以下に記された主イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

19 「ある金持ちがいた。いつも紫の衣や柔らかい麻布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。20 この金持ちの門前に、ラザロというできものだらけの貧しい人が横たわり、21 その食卓から落ちる物で腹を満たしたものだと思っていた。犬もやって来ては、そのできものをなめた。22 やがて、この貧しい人は死んで、天使たちによって宴席にいるアブラハムのすぐそばに連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。23 そして、金持ちは陰府でさいなまれながら目を上げると、宴席でアブラハムとそのすぐそばにいるラザロとが、はるかかなたに見えた。24 そこで、大声で言った。『父アブラハムよ、わたしを憐れんでください。ラザロをよこして、指先を水に浸し、わたしの舌を冷やさせてください。わたしはこの炎の中でもだえ苦しんでいます。』25 しかし、アブラハムは言った。『子よ、思い出してみてください。お前は生きている間に良いものをもらっていたが、ラザロは反対に悪いものをもらっていた。今は、ここで彼は慰められ、お前

はもだえ苦しむのだ。26 そればかりか、わたしたちとお前たちの間には大きな淵があつて、ここからお前たちの方へ渡るうとしてもできないし、そこからわたしたちの方に越えて来ることもしかない。』27 金持ちは言った。『父よ、ではお願いです。わたしの父親の家にラザロを遣わしてください。28 わたしには兄弟が五人います。あの者たちまで、こんな苦しい場所に来ることのないように、よく言い聞かせてください。』29 しかし、アブラハムは言った。『お前の兄弟たちにはモーセと預言者がいる。彼らに耳を傾けるがよい。』30 金持ちは言った。『いいえ、父アブラハムよ、もし、死んだ者の中からだれかが兄弟のところに行つてやれば、悔い改めるでしょう。』31 アブラハムは言った。『もし、モーセと預言者に耳を傾けないのなら、たとえ死者の中から生き返る者があつても、その言うことを聞き入れはしないだろう。』

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」